

平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立城南特別支援学校 肢体不自由		通学区域	品川区(全域)、大田区(全域)、港区(一部)	
		肢体不自由のある子供たちの特性や発達課題に応じた教育を行い、地域や社会の一員として自立する力を育てる		進路実績	生活介護施設9名 就労移行支援事業所2名 就労継続B型施設1名	
基本	所在地	〒 144-0046 大田区東六郷二丁目18番19号	電話番号	03-3734-6308	基 本 情 報	
	アクセス	(1) 京浜急行 雑色駅より徒歩5分 (2) (3)		教育課程の特徴		
本	設置学部	小学部、中学部、高等部(通学困難生のための訪問教育があります)				
	幼児・児童生徒数	137名(小学部63名、中学部31、高等部43名)(5月1日現在)				
情	学級数	35学級(小学部17学級、中学部8学級、高等部10学級、うち訪問学級5学級)				
	スクールバス	14台(大型8台、中型6台)				
報	その他	①オリンピック・パラリンピック推進校、②スポーツ教育推進事業校、③宿泊防災訓練指定校、④情報モラル推進校、⑤放課後活動等支援推進事業 ⑥社会貢献事業指定校			副籍実施状況	小学部 66%、中学部 27%(病院訪問児童・生徒を除く)
					学校評価	回答率 保護者82%、教員100% 本校の教育に関する保護者満足度(満足+やや満足82%)
					ホームページ	http://www.ionan-sh.metro.tokyo.jp/cms/html/top/main/index.html

目指す学校 ①児童・生徒が意欲的に学びたい学校 ②保護者が安心して、我が子を託せる学校 ③地域とともに歩み、地域の人々に信頼される学校 ④教職員一人一人が法令等を遵守し、相互の連携を深め組織的な学校運営を推進する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	ICT教材を活用した学習指導と個別学習の充実 ①教員全員がICT教材を作成し、授業改善を図る ②学習グループにおいてICTを活用した単元を実施と研究の促進 ③ICTアドバイザーを活用し作成した、個に応じた教材の充実	①全ての教員が5つ以上の教材(ICT教材2つ)を作成し、その教材を授業に活用することで、児童・生徒の興味が一層膨らみ、積極的・主体的に参加できる授業へと改善できた。 ②各学習グループの授業で、全教員が年間一人1回以上実施した。オリパラ関連の単元を設定してICTを活用した。 ③ICTアドバイザーの助言に基づき、タブレットPCやパソコン等での学習を展開した。視線入力等を含めたアクセシビリティのカスタマイズやコミュニケーションツールとしての活用が進んだ。児童・生徒の興味・関心の拡大としての学習支援のみならず社会参加の支援機器としての活用が進んだ。	
目標②	災害時の児童・生徒の対応力の向上と生活指導の充実 ①防災備品の確認と使用方法の研究。研修の実施。 ②長期休業日中の中学部1年を対象にした宿泊防災訓練の実施。 ③いじめ、体罰の根絶と人権尊重教育の推進。 ④屋上避難訓練の実施	①夏季休業中(7月)に防災備品及び機器の使用研修を実施した。保管場所等の写真データによる共有化を図った。 ②9月14日・15日に一泊二日宿泊防災訓練を実施した。隣接の都立六郷工科高等学校生徒が体育館内のパーティション設置、投光器組立て等の補助業務に参加した合同訓練となった。 ③「いじめ防止基本方針」に基づき、全校でいじめと体罰の防止を促進し、職員の意識向上を果たした。 ④屋上への避難訓練を行い、避難にかかる時間・人手等に関する情報を収集し、近隣の関係機関の方々にも状況を確認いただいた。また、避難後に必要となる物資等の確認を併せて実施した。	
目標③	外部人材活用したチームアプローチ 教員と学校介護職員、非常勤看護師等の協働による ①ユニバーサルフレーム等の導入による自立活動の充実 ②学校無事故期間、800日更新 ③医療的なケアの充実。	①外部専門家の助言を受け、ユニバーサルフレームを活用した姿勢保持・バランス感覚向上等に努め、自立活動の充実を図った。さらに、ユニバーサルフレーム研究協議会を設立し、校内外で同器具の活用時の留意点や今後の有用性検証等に努めた。 ②無事故日数は699日までとなった。再現シミュレーションによる職員研修を実施し、具体的な再発防止策を講じた。 ③医療的ケアの校内委員会内の医師を活用し、アドバイスを受けて医療的ケアの充実に努めた。また、知的障害特別支援学校への医療的ケア導入支援と併せて、常勤看護師の専門性向上を図り、医療的ケアの質的向上を図った。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	26年度		27年度		28年度		今年度		30年度	31年度	32年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	個別指導計画に基づく指導の満足度(保護者、児童生徒から80%以上)	80%	85%	80%	85%	80%	82%	80%	94%	80%	80%	80%
目標②	授業改善のための校内授業研究会や授業者支援会議(60回以上)	10回	92回	60回	55回	60回	80回	60回	98回	60回	60回	60回
目標③	副籍制度による直接的な交流(年間のべ75回以上)	75回	75回	75回	94回	75回	75回	75回	68回	75回	75回	75回